

稲作管理情報

移植後のスクミリングガイ（ジャンボタニシ）防除について

海部農林水産事務所 農業改良普及課

令和4年1月から3月上旬まで低温で推移したこともあり、今年度のスクミリングガイの発生量は昨年よりも少なくなっています。しかし、用水浴いなどの条件によってはスクミリングガイが多発している圃場も見受けられます。

スクミリングガイは田植後3週間までの柔らかい苗を食害します。必要に応じて薬剤防除や浅水管理等の対策を行っていただきますようお願いします。

スクミリングガイに対する主な防除薬剤

薬剤名	使用時期	使用方法	本剤の使用回数
スクミンバイト3	発生時	散布、無人ヘリコプターによる散布	—

薬剤散布後は少なくとも3～4日後は湛水状態（水深3～5cm）を維持し、7日間は落水やかけ流しを行わないようにしてください。

また、本貝は水中でないと摂食できないため、移植後3週間は浅水管理（水深4cm以下）を行うことで被害を軽減できます。

成貝・卵の駆除

水田内や水路の貝と卵を捕殺することにより、発生密度を減らすことができます。卵は水中ではふ化できないため、卵を水中に落とすことにより駆除します。ただし、ふ化直前の白っぽくなった卵は水中でもふ化できるため、押しつぶす必要があります。スクミリングガイには人体に有害な寄生虫がいる場合があるため、ゴム手袋やトングなどを使用し、素手では扱わないようにしてください。

◆農薬の使用に当たっては、有効年月以内の農薬を、ラベルの記載に従って使用してください。◆

また、周辺への飛散防止に努めましょう。